

脳卒中

米の山病院
放射線科

「いきをすって」号外 003 号
発行責任者：山下 紀文

脳卒中は日本人の死亡原因の第3位なのです！

脳卒中 = 脳血管疾患は死亡原因の中でがん、心疾患に次いで第3位です。
脳卒中は脳の血液が詰まって流れなくなる「脳梗塞(のうこうそく)」と脳の血管が破れて出血したりする「脳出血」に分けられます。今回は脳卒中について紹介します。

? 「脳卒中」ってどんな病気？



突然、手足がしびれたり動かなくなったり、言葉が話せなくなったり、あるいは意識がなくなったりする発作を「脳卒中」と言います。昔は、「中気」あるいは「中風」とも呼ばれていました。原因は、脳の血管が詰まったり、破れたりして、その先の細胞に栄養が届かなくなって、脳細胞が死んでしまうからなのです。

? どんな症状で起こるの？



急に倒れて意識がなくなったり、半身のマヒが起きたりしますが、前触れとして顔、手足のしびれ、脱力感、言葉の障害、舌がもつれる、相手の言葉が理解できないなどや激しい頭痛をとまなうことがあります。



? どうすればいいの？

上に書いてある前触れが先に起きていることがあります。これは脳の血管が一時的に詰まるために起こるもので、これに気づくと大きな発作の前に治療をすることができます。治療を始める時期によってその後の後遺症や入院期間も変わってくるのです。



? どうやって調べるの？

まずどのタイプの脳卒中なのか、どこに異常があるのかなどを調べるために、CT、MRI、MRAなどで検査をします。

? 予防法ってあるの？

- ・ 血圧の管理（日頃から平均血圧を心がけましょう）
- ・ 急激な温度変化（心臓にも負担がかかります）
- ・ バランスの良い食事（塩分の取りすぎは危険です）
- ・ お酒は「ほどほど」に（飲みすぎは動脈硬化や高血圧、糖尿病を誘発します）
- ・ たばこは「百害あって一利なし」（血圧上昇や動脈硬化の原因です）
- ・ 適度な運動（血圧の低下、動脈硬化の予防になります）
- ・ 健康診断や人間ドックを利用（動脈硬化、またその危険因子となる高血圧、高脂血症、糖尿病などは自覚症状がないまま進行します。気づいたときには手遅れという状況も考えられます。定期的に検診を受け、まずその結果に関心を持ちましょう。）



脳卒中は防ぐことができる病気なのです。

健康診断や人間ドックで脳卒中を防ごう！

検査のご依頼は放射線科へお尋ね下さい。

参考 厚生労働省 / 脳卒中ネット